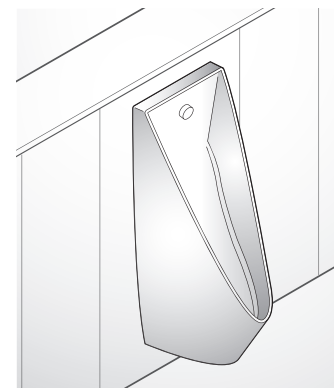


# TOTO

施工説明書

## マイクロ波センサー壁掛小便器セット



XPU21系 (US117系)  
XPU22系 (US117G系)



UAXU11系 (US118系)  
UAXU12系 (US118G系)

安全に関するご注意	2
設計上のご注意	3
取り付け前のご注意	4
セット図	5
同梱部品の確認	6
別梱部品の確認	7
使用工具	7
オプション品	7
各部のなまえ	7
ターゲットマーク	7
施工手順	8
取付方法	9
試運転	18

## 安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。  
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。





**警告** この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意** この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。







※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

**禁止** は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「風呂、シャワー室での使用禁止」を示します。

**強制** は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

警告	
	浴室内などの湿気の多い場所に設置しない 故障、漏電の原因になります。
	修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わない 故障、感電・けがのおそれがあります。
	屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所には取り付けない 取り付けが不安定になり、落下してけがやときに死亡のおそれがあります。
	電源は交流100V以外は使用しない 交流200Vや直流電源を使用しますと火災や故障の原因になります。

警告	
	取り付け前には所定の下地、補強を設ける 固定強度不足で施工すると、けがや壁の破損が生じるおそれがあります。
	危険防止のため、必ず過電流遮断器、漏電遮断器を設置する 使用電線：600Vビニール絶縁電線またはケーブル(φ1.6、φ2.0mmの単線もしくは2.0mmのより線) 電源線の結線部は絶縁および被水防止処理を行う 感電、漏電の原因になります。

注意	
	小便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	必ず2人以上で施工を行う 腰を痛めたり、陶器を落として破損する可能性があります。
	施工後、必ず試運転し、各部に水漏れのないことを確認する 取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。
	設置工事は、この説明書に従って確実に 故障や水漏れの原因になります。
	壁への固定が完了するまで、十分注意するまた、各部の固定がゆるんでいないことを確認する 倒れやすく、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

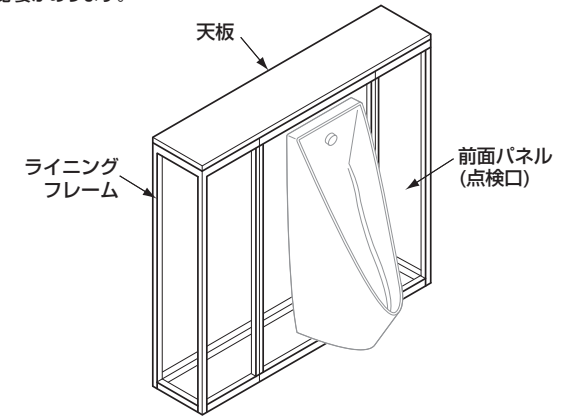
## 設計上のご注意

本小便器はセットコントローラーユニット・バルブユニットをライニング内に収納します。  
それらの施工、メンテナンスのために点検口を設ける必要があります。  
点検口付きのライニングを別途手配ください。

【別途手配が必要なもの】

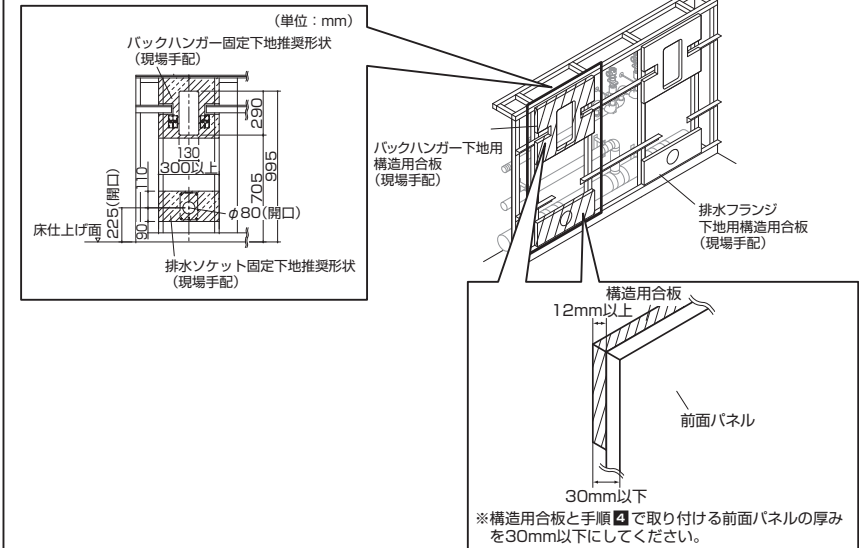
- 点検口付きのライニング
  - ・ライニングフレーム
  - ・天板
  - ・前面パネル

※本商品専用のTOTO製の点検口付ライニングもご用意しています。



## バックハンガー・排水フランジ下地、補強材の準備

- バックハンガーと排水フランジの固定箇所に下地用の構造用合板を取り付ける。  
※TOTO製の点検口付ライニングを使用の場合は、不要です。



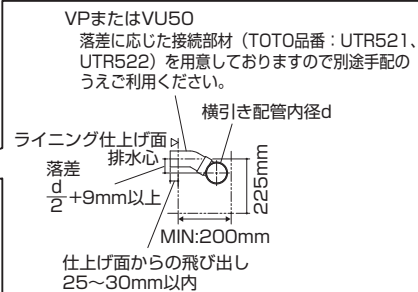
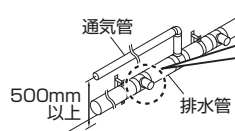
## 設計上のご注意

- 給水管、排水管の確認  
給水管、排水管が正しく設置されているか確認してください。

### 排水管・給水管の確認

#### 排水管の確認 〈床上の横引き配管の場合〉

- 排水フランジ標準取り付け高さは、排水心で床仕上げ面+225mmです。
- 通気管高さは床仕上げ面から500mm以上に設置する。
- 横引き排水管の勾配は、1/50以上確保する。



#### 給水管の確認

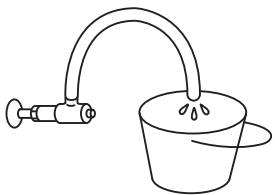
- 各器具への給水取り出し口は、点検口裏にくるように位置決めする。  
※寸法はセット図を確認してください。
- 給水取り出し口の根元は、ガタつかないように必ず支持金具で固定する。



## 取り付け前のご注意

- 施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようご注意ください。  
金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。
- 水道工事、電気工事、設備工事、建築工事は十分に工程を事前打ち合わせのうえ、行ってください。
- 電源線は現場で用意してください。
- アース線は不要のため、2芯の電源線をご使用ください。
- 本小便器は電気器具のため、水をかけないように注意してください。
- 出荷前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。
- 強い照明や太陽光が入る環境では、ターゲットマーク点灯が見えにくくなる場合があります。
- 給水圧力は最低必要水圧0.07MPa(8L/分 流動時)、最高水圧0.75MPa(静止時)です。この圧力範囲でご使用ください。

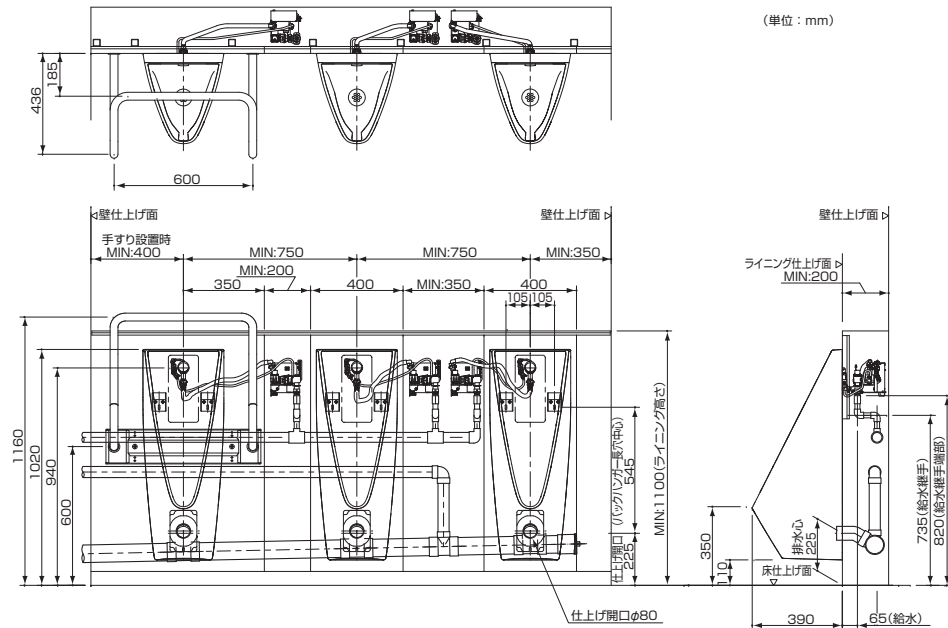
- 商品を取り付ける前に、必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。



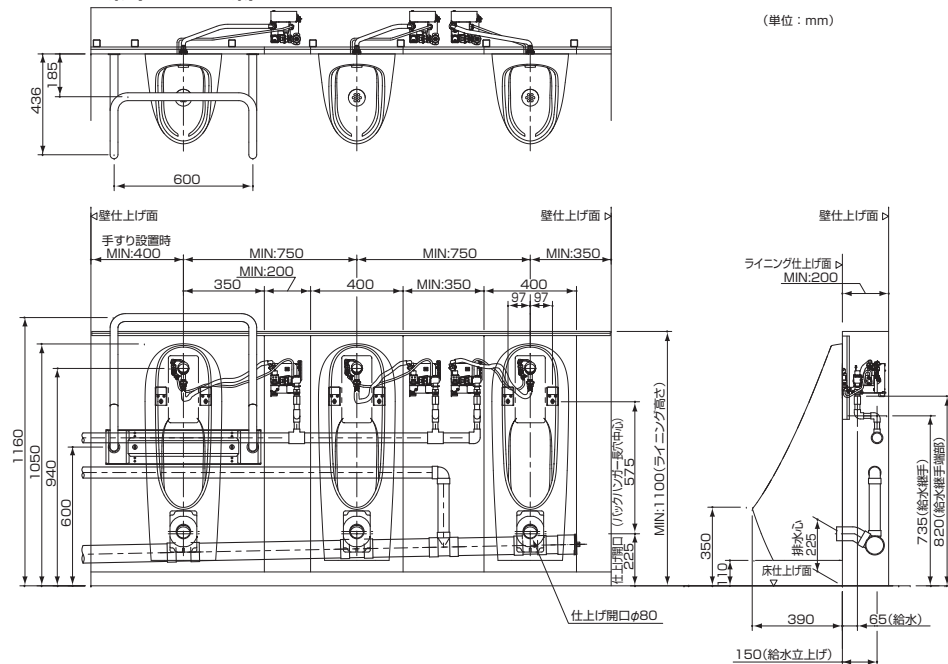
## セット図

- 標準設置寸法は、次のようになります。  
完成イメージを把握していただき、施工時に必要な寸法は、下図を元に正しく取り付けてください。

### 〈XPU21系 (US117系) XPU22系 (US117G系)〉



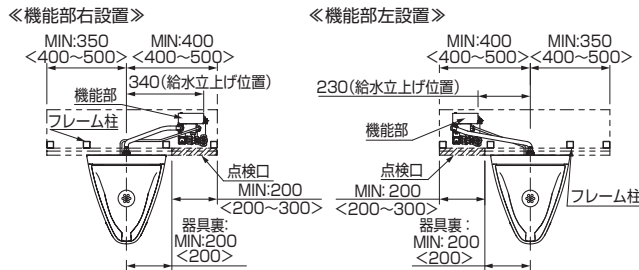
### 〈UAXU11系 (US118系) UAXU12系 (US118G系)〉



## セット図

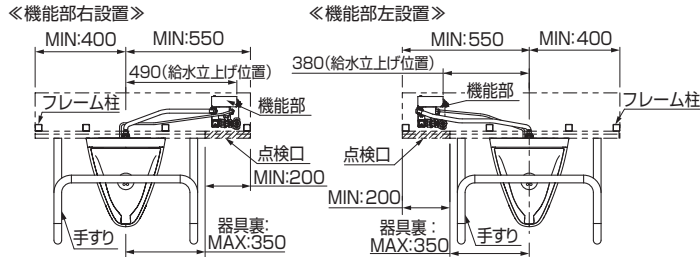
●手すり設置なしの場合

※TOTO製の点検口付ライニングを用いた場合は< >内寸法になります。



●手すり設置ありの場合

※TOTO製の点検口付ライニングを用いた場合は手すり設置なしの場合と同じ仕様となります。



## 同梱部品の確認

■部品があるか、下記を参照して確認してください。

■品番によっては図と現物の形状が一部異なります。

小便器本体		目皿	コントローラーユニット・バルブユニット	
XPU21系 (US117系) XPU22系 (US117G系)	UAXU11系 (US118系) UAXU12系 (US118G系)		(Oリング付き) (1個)	
(1個)	(1個)	(1個)		
バックハンガー		排水フランジ		
バックハンガー本体 (2個)	ワッシャー (2枚)	排水フランジ本体 (1個)	ボルト (1個)	ナットM8 (2個)
木ねじ (φ5.8×50:6本)	ビス保護キャップ (6個)	タッピンねじ (4本)	ワッシャー (大) (1枚) (小便器用)	ワッシャー (小) (1枚)
			Pシール (1個)	施工説明書 (1部)
クランプ		その他		
大 (1個)	小 (1個)	施工説明書 (1部)	傷防止シート (1部)	取扱説明書 (1部)
お客様に必ずお渡しください。				

## 別梱部品の確認

### 給水金具



止水栓 (1個)



クイックファスナー (1個)

## 使用工具

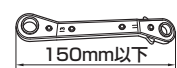
### 六角棒レンチ



(呼び寸法3)

コントローラーユニット・バルブユニット取り付け用

### 板ラチェットレンチ (推奨)



150mm以下

小便器取り付け用

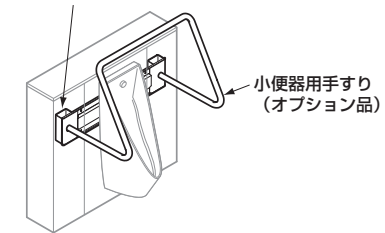
一般水道工事に使う工具以外に、右記の工具・部材をご用意ください。

## オプション品

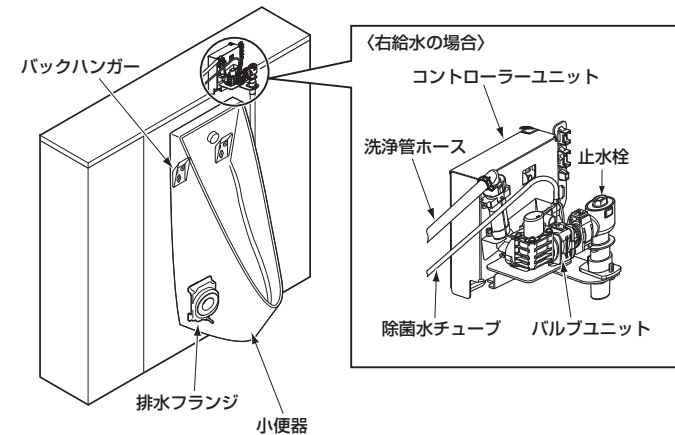
《手すりを取り付ける場合》

手すり取付材 (オプション品)

※専用のTOTO製の点検口付ライニングをご手配の場合は、点検口付ライニングに含まれるため不要です。

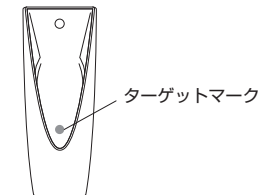


## 各部のなまえ



## ターゲットマーク (XPU22系 (US117G系) UAXU12系 (US118G系))

ターゲットマークとは、小便器の前に立つと尿はねしにくいポイントに青色LEDを照射させる機能。

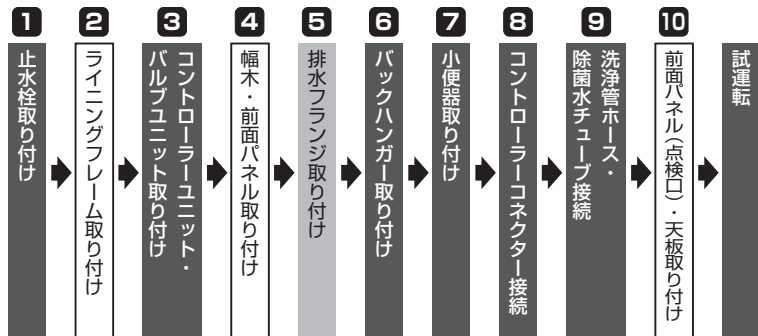


## 施工手順

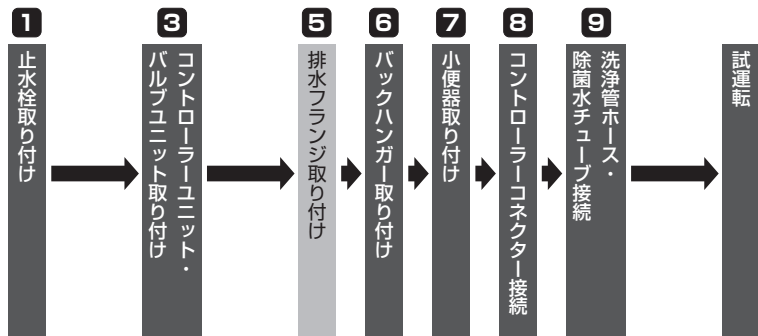
この施工手順に従って便器・タンクを正しく取り付けてください。

( は本紙、 は現場手配のライニング、 排水フランジに同梱の施工説明書を参照ください)

**[現場手配のライニングを使用する場合]**



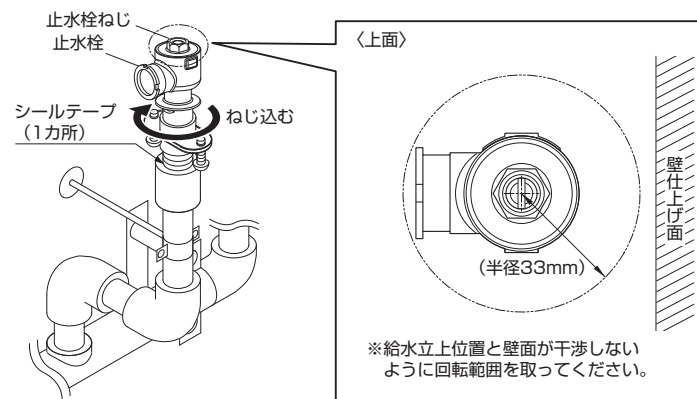
**[TOTO製の点検口付きライニングを使用する場合]**



## 受付方法

### 1 止水栓取り付け

- 接続部にシールテープを巻き、止水栓を取り付ける。
- ※ 止水栓は必ず正面から見て左向きのこと



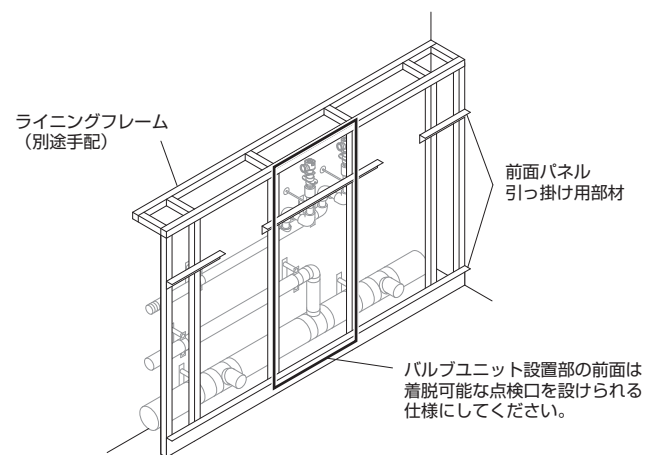
### 2 ライニングフレーム取り付け

**[現場手配のライニングを使用する場合]**

- ライニングの壁仕上げ面を基準に位置決めする。
- ※ 下図は引っ掛け式パネル仕様の例です。

**[TOTO製の点検口付きライニングを使用する場合]**

- 点検口付きライニングに同梱の施工説明書を参照。



## 取付方法

### 3 コントローラーユニット・バルブユニット取り付け

#### ⚠ 注意

バルブのリングにごみの付着や傷付きがないよう注意する  
 Oリングにごみの付着や傷・はみ出しがあると水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



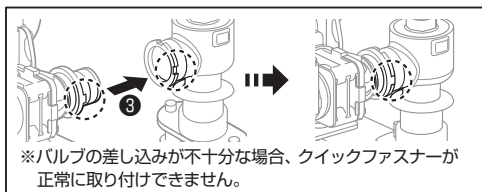
必ず実行

クイックファスナー接続後、スムーズに回転しない場合は  
**接続作業をやり直す**  
 クイックファスナーの接続が不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

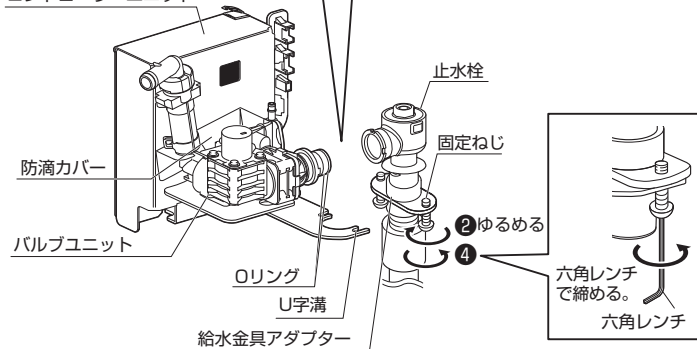
#### 注意

- ・持ち上げる際は、バルブユニットを持たない
- ・コントローラーユニットに強い衝撃をあたえない
- ・バルブユニットの防滴カバーを外さない

- 1 バルブのOリングに付いている養生紙を取り除く。
- 2 固定ねじをゆるめる。
- 3 コントローラーユニット・バルブユニットを止水栓に取り付ける。  
 ※止水栓のつばの凹部にバルブのつばの突起をあわせて差し込んでください。
- 4 コントローラーユニットのU字溝が差し込まれていることを確認し、六角レンチで締める。



コントローラーユニット



#### 使用工具



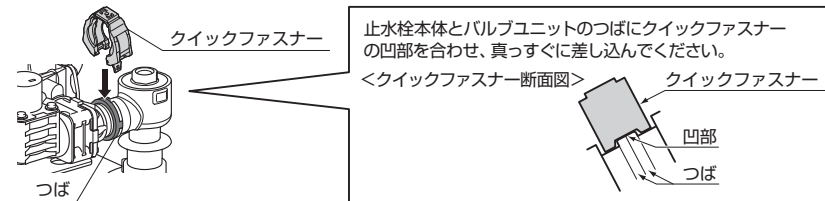
## 取付方法

### 3 コントローラーユニット・バルブユニット取り付け (つづき)

#### ⑤ クイックファスナーを差し込む。

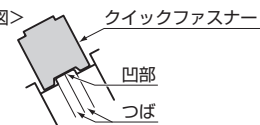
※クイックファスナーは止水栓の箱の中に入っています。

※バルブの差し込みが不十分な場合、クイックファスナーが正常に取り付けできません。



止水栓本体とバルブユニットのつばにクイックファスナーの凹部を合わせ、真っすぐに差し込んでください。

＜クイックファスナー断面図＞



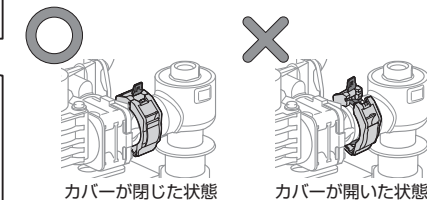
ロックは、装着時にクイックファスナーの内側に入らないようにしてください。  
 誤装着の原因になります。



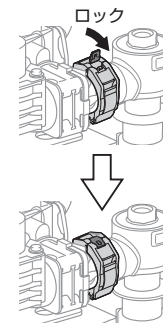
#### ⑥ クイックファスナーの凹部につばがしっかり入っているか確認し、前後に回転させて止水栓とバルブの接続状態を確認する。



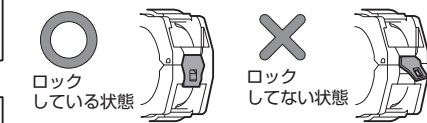
カバーの左右を指で押さえて閉じ、ロックが見えるように手前に回し、クイックファスナーが閉じていることを確認する。



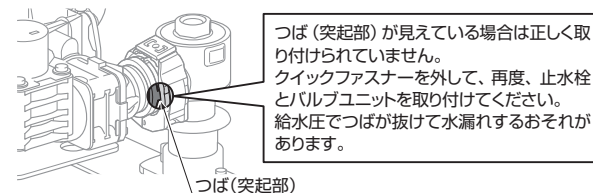
#### ⑦ カバーを確実にロックして固定する。



確実にロックして、クイックファスナーが開かないことを確認する。



〈取り付け後、必ず確認してください。〉



## 取付方法

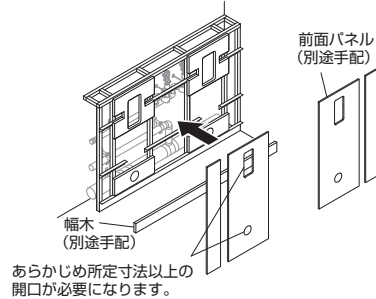
### 4 幅木・前面パネル取り付け

【現場手配のライニングを使用する場合】

- 幅木と前面パネルを取り付ける。

【TOTO製の点検口付きライニングを使用する場合】

- 点検口付きライニングに同梱の施工説明書を参照。



### 5 排水フランジ取り付け

排水フランジ同梱の施工説明書に従い、排水フランジを取り付ける。

### 6 バックハンガー取り付け

#### ⚠ 注意



**必ず2人以上で施工を行う**

腰を痛めたり、陶器を落として破損する可能性があります。

必ず実行

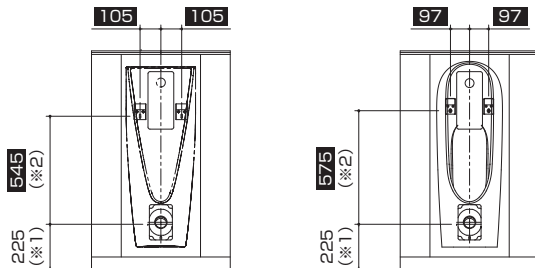
#### 注意

- ・洗浄管ホース・除菌水チューブ・配線を傷つけない。
- ・洗浄管ホース・除菌水チューブ・配線を無理にひっぱらない。
- ・防滴カバーや部品を外さない。
- ・取り付け後、洗浄管ホース・除菌水チューブが折れ曲がっていないことを確認する。

①バックハンガーの3カ所のねじ穴のうち、下側の長穴を仕上げ材表面から下図の位置に木ねじで固定する。

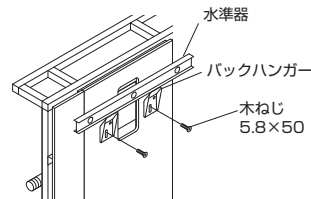
＜XPU21系 (US117系)  
XPU22系 (US117G系)＞  
(単位：mm)

＜UAXU11系 (US118系)  
UAXU12系 (US118G系)＞  
(単位：mm)



※1 仕上げ開口

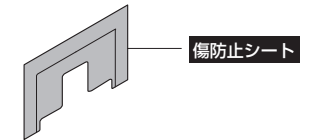
※2 バックハンガー長穴中心



## 取付方法

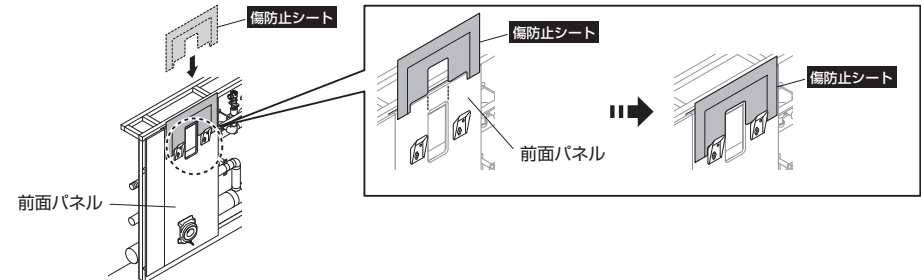
### 傷防止シートは小便器を取り付ける際に必ず使用してください。

※壁への傷付きを防止するためです。

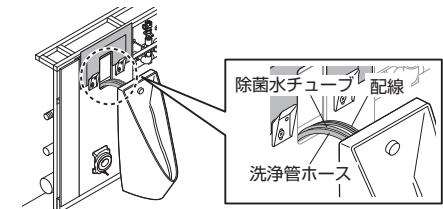


### 6 バックハンガー取り付け (つづき)

②傷防止シートの開口部と前面パネルの開口部の位置を合わせ、傷防止シートを取り付ける。



③洗浄管ホース・除菌水チューブ・配線を開口部より止水栓方向に通す。  
※小便器の取り付け部品に不必要に触れたり、力を加えないでください。

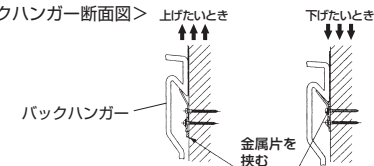


④小便器をバックハンガーに仮置きし、排水フランジの固定ボルトが小便器の固定用穴に通るか確認する。  
※通らない場合はバックハンガーの高さを調整してください。



＜バックハンガーの高さ調整だけでは排水フランジの固定ボルトが小便器の固定用穴に通らない場合＞  
バックハンガーの木ねじをゆるめ、壁との間に金属片を挟んで高さ調整する。

＜バックハンガー断面図＞



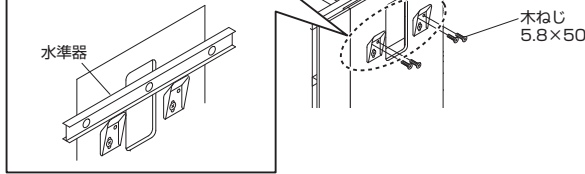
⑤バックハンガーの取り付け位置が決まったら、小便器をバックハンガーから外す。

## 取付方法

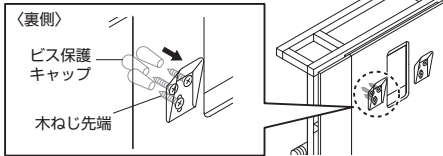
### 6 バックハンガー取り付け (つづき)

⑥バックハンガーの左右の水平レベルを確認し、上側2カ所のねじ穴を固定する。

〈小便器でのバックハンガー調整後〉  
水準器などを用いて、  
バックハンガー上面が水平になる  
ように取り付けてください。



⑦耐水合板を貫通した木ねじは、ねじ先端にビス保護キャップを取り付ける。  
※けがを防ぐため取り付けます。



### 7 小便器取り付け

#### 注意

- ・洗浄管ホース・除菌水チューブ・配線を傷つけない。
- ・洗浄管ホース・除菌水チューブ・配線を無理にひっぱらない。
- ・防滴カバーや部品を外さない。
- ・取り付け後、洗浄管ホース・除菌水チューブが折れ曲がっていないことを確認する。

①小便器排水口周辺のごみや水分を取り除く。

②Pシールを取り付ける。

#### 注意

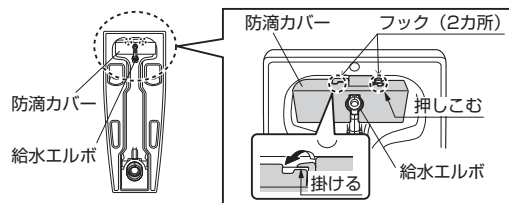
- ・Pシールの取付方法は、排水フランジに同梱の施工説明書等をご確認ください。

③傷防止シートの開口部と前面パネルの開口部の位置を合わせ  
傷防止シートを取り付ける。

④洗浄管ホース・除菌水チューブ・配線を開口部より、  
止水栓方向に通す。



〈防滴カバーが外れた場合〉  
・防滴カバーのフック (2カ所) を下図のように取り付ける。



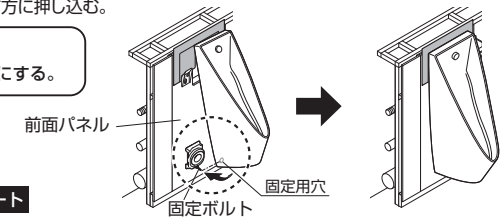
## 取付方法

### 7 小便器取り付け (つづき)

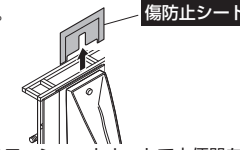
⑤前面パネルに添ってゆっくり下におろし、バックハンガーに小便器が掛かったことを確認する。  
固定ボルトを固定用穴の中心に合わせ、小便器下部を前方に押し込む。

#### 注意

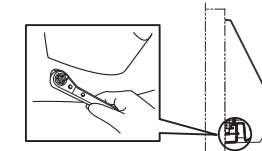
- ・給水エルボを前面パネルの開口部にぶつけないようにする。



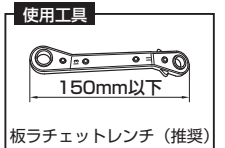
⑥傷防止シートを引き抜く。



⑦排水フランジ同梱部品のワッシャーとナットで小便器を固定する。



- ※床仕上げ面の上に汚垂石を取り付けした際は、ナットが締め付けづらくなる場合があります。
- ※ナットの対辺は13mmです。

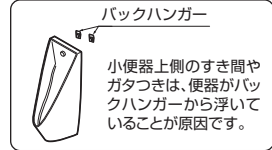


### 小便器取り付け時のご注意

#### 小便器取り付け状態の確認

小便器と壁の間にすき間がないか、ガタつきがないか確認してください。

小便器と壁の間にすき間やガタつきがある場合は、**小便器取り付けの調整方法**を行ってください。

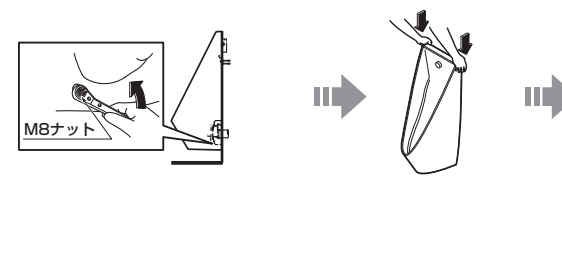


#### 小便器取り付けの調整方法

①M8ナットを小便器から離れるまでゆるめる。

②小便器を上から荷重を加えながら押し、小便器のすき間やガタつきをなくす。

③M8ナットを締め付ける。



- 注意**
- ・M8ナットを締め付ける際に金属音が鳴る場合がありますが、小便器と壁の間にすき間がなくなるまでM8ナットを締め付けてください。
  - ・M8ナットを強く締め込み過ぎて、小便器を割らないように注意してください。

※すき間やガタつきが解消されない場合は、①～③の調整を繰り返してください。

※二人施工の場合は、小便器を上から荷重を加え押しながら、M8ナットを締め付けて調整することができます。

#### 動画を見る

#### 小便器取り付けの調整方法

[https://search.toto.jp/contents/navi/construction/w/move/202107\\_us900\\_toritsukeyosei.htm](https://search.toto.jp/contents/navi/construction/w/move/202107_us900_toritsukeyosei.htm)

※通信料がかかります。

※ご利用環境によって閲覧できない場合があります。





## 取付方法

### 8 コントローラーコネクタ接続

#### 警告

**禁止**  
給水管と電源線は、接触させない  
故障、漏電の原因になります。

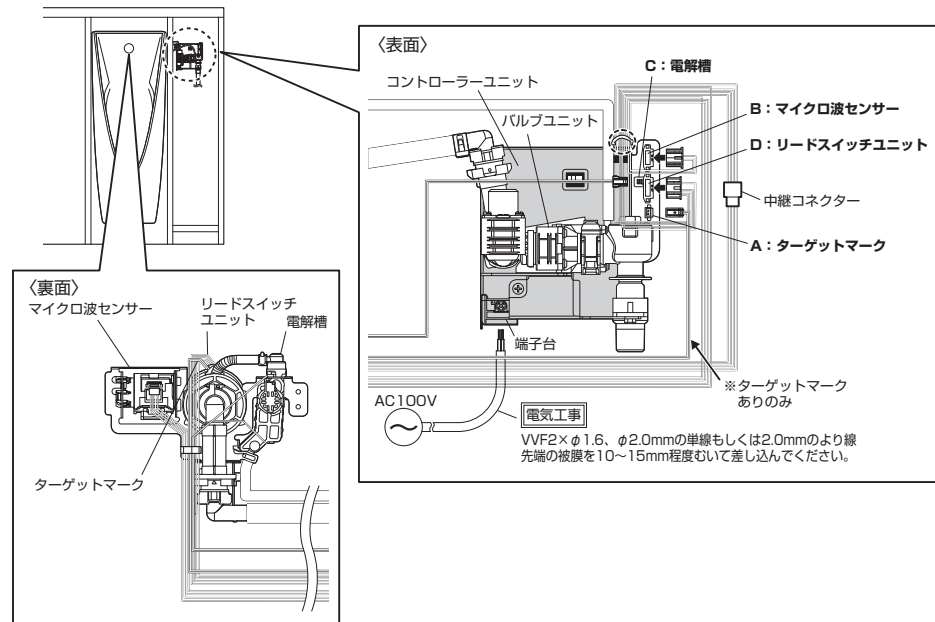
通電していないことを確認のうえ、接続を行う  
感電の原因になります。

電源端子台と1次電源との接続は必ず有資格者が行う  
故障、感電の原因になります。

**必ず実行**  
電源線(VVF)を端子台に差し込む際は、接地側電線を1番、  
非接地側電線を2番に差し込む  
火災のおそれがあります。



- 電源配線を1m以上たるませて配線する。  
※コントローラーを取り外して作業するとき、電源配線が張らないようにするためです。
- 下図を参照のうえ、コネクタをコントローラーユニットに確実に接続する。  
ターゲットマークなし XPU21系 (US117系) UAXU11系 (US118系) : B、C、D (3カ所)  
ターゲットマークあり XPU22系 (US117G系) UAXU12系 (US118G系) : A、B、C、D (4カ所)  
※コネクタ接続部は給水ホースと接触させないでください。



## 取付方法

### 8 コントローラーコネクタ接続 (つづき)

- リードスイッチユニットを固定する。  
※中継コネクタからコネクタ接続部は給水ホースと接触させないでください。

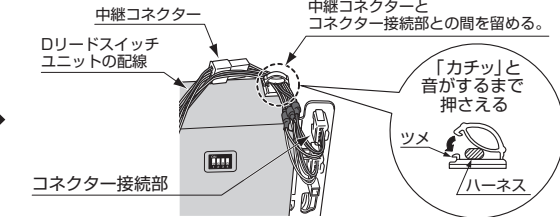
コードクランプを外す。



※コードクランプを外すときは、  
手で行わない。

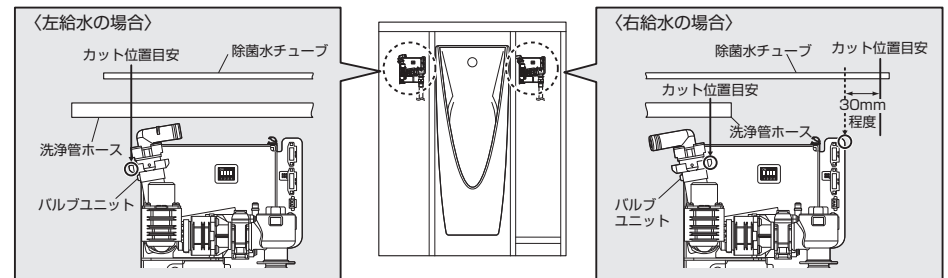
マイナスドライバーを使用すると  
容易に外すことができます。

左記リードスイッチユニットの配線をコードクランプで固定する。

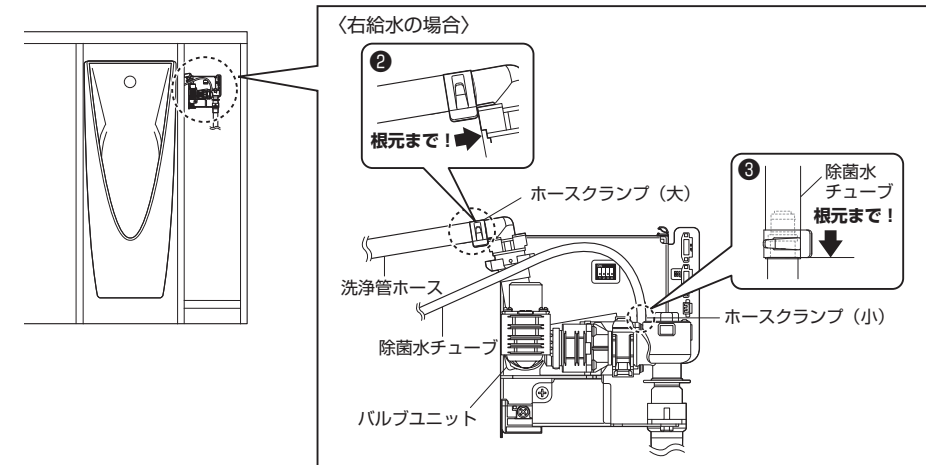


### 9 洗浄管ホース・除菌水チューブ接続

- 洗浄管ホース・除菌水チューブをバルブユニットにもってきて、下図のようにカットする。



- 洗浄管ホースをバルブユニットに根本まで差し込み、ホースクランプ (大) で固定する。
- 除菌水チューブをバルブユニットに根本まで差し込み、ホースクランプ (小) で固定する。



※取り付け後、洗浄管ホース・除菌水チューブが折れ曲がっていないことを確認してください。

## 取付方法

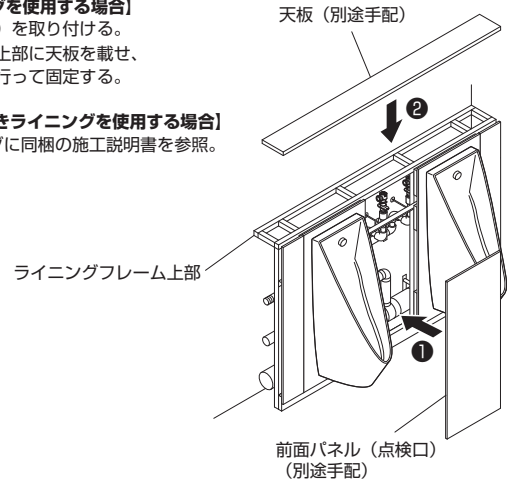
### 10 前面パネル（点検口）・天板取り付け

【現場手配のライニングを使用する場合】

- 1 前面パネル（点検口）を取り付ける。
- 2 ライニングフレーム上部に天板を載せ、壁とのすき間調整を行って固定する。

【TOTO製の点検口付きライニングを使用する場合】

- 点検口付きライニングと同梱の施工説明書を参照。



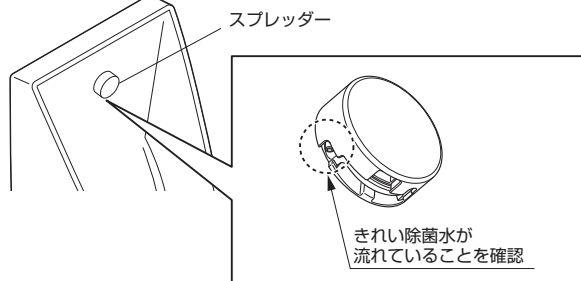
## 試運転（必ず実施してください。）

- 試運転は、下記洗浄動作確認方法に準じて行ってください。
- 各器具のぐらつきや接合部の水漏れがないか点検してください。
- 試運転後、止水栓やバルブ部および陶器下部に水漏れがないことを確認してください。

### 洗浄動作確認方法

※洗浄確認時に、ポウル部先端まで洗浄水が届いていない場合は、止水栓を全閉にした後、少しずつ開いて調整をしてください。

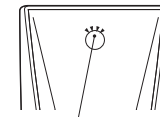
- 本小便秘器セットでは、マイクロ波センサーによって人体の動きで便器洗浄を行います。設置後、便器洗浄することを確認してください。
- 動作確認は、必ず通水状態で行ってください。
- 通電直後に自動で便器洗浄を行います。
  - ※通電直後の自動洗浄は、通電状態のまま24時間経過すると作動しくなくなります。
  - ※通電直後、きれい除菌水が流れていることを確認してください。
  - 流れない場合は、除菌水チューブが接続されているか、折れ曲がっていないことを確認してください。
- 通水後は、洗浄管ホース・除菌水チューブを外したり、引っ張らないでください。



## 試運転（必ず実施してください。）

- 通電直後の自動洗浄後、下記の確認を行ってください。

〈ターゲットマークなしの場合〉  
XPU21系 (US117系)  
UAXU11系 (US118系)



スプレッダー内赤色LED

- 1 小便器に近づく  
※スプレッダー内の赤色LEDが点灯
- 2 5秒以上待つ
- 3 小便器から離れる  
※スプレッダー内の赤色LEDが消灯
- 4 便器洗浄することを確認する

〈ターゲットマークありの場合〉  
XPU22系 (US117G系)  
UAXU12系 (US118G系)



ターゲットマーク

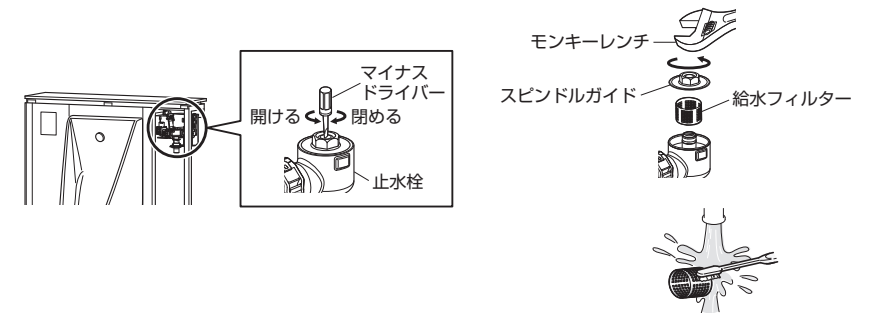
- 1 小便器に近づく  
※スプレッダー内の赤色LEDが点灯  
ターゲットマークが点灯
- 2 5秒以上待つ
- 3 小便器から離れる  
※スプレッダー内の赤色LEDが消灯  
ターゲットマークが消灯
- 4 便器洗浄することを確認する

### 注意

- スプレッダー内の赤色LEDが正常に作動しないまたは点滅を繰り返している場合は、配線の接続を確認してください。

### 止水栓のフィルター掃除方法

- 試運転後は必ず止水栓のフィルター掃除を行ってください。洗浄動作確認の際、施工時に発生した配管内のくずや異物が止水栓のフィルターに詰まり、水の出が悪くなることがあります。



- 陶器表面に傷などがないことを確認してください。陶器表面に金属類（時計のバンド、ベルトのバックルなど）が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。スジ状の跡が付いた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で除去してください。
- 本紙記載の品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。